



2023年度 環境経営レポート

(2023.4.1~2024.3.31)

nicol

目次①

| | |
|----------------------|----|
| 1. 社長より | 4 |
| 2. 会社概要 | 5 |
| 3. 環境経営方針 | 10 |
| 4. ニコルの企業活動とSDGsの関わり | 12 |
| 5. 環境経営推進体制 | 14 |
| 6. 環境経営目標と実績 | 16 |
| 7. 電力使用量の年度推移 | 21 |
| 8. 紙使用量の年度推移 | 22 |
| 9. 可燃ごみ排出量の年度推移 | 23 |
| 10. 環境負荷の考察 | 24 |
| 11. 環境負荷測定法 | 26 |
| 12. 環境取組の評価 | 27 |
| 13. 環境関連法規 | 29 |
| 14. 環境活動紹介 | 32 |

目次②

| | | |
|-----------------------|-------|----|
| 15. 事業活動における取組 | | 36 |
| 16. 代表者よる評価と見直し | | 39 |
| 17. 環境活動の変遷 | | 40 |
| 18. 中期目標(2024～2026年度) | | 41 |
| 19. 年度目標(2024年度) | | 42 |

1. 社長より

時代が移り、世の中の仕組みが変わろうとも、私たちが創るものは常に「世の中の役に立つもの」です。良いものを作るにはこだわりが必要です。しかし、そのこだわりも独りよがりではいけません。

つねに使う人の目線に立ちながら、考え、議論し、より良いもの追求する、そんな姿勢が必要です。

そしてシステムニコルは「人の役に立ちたい」そんな志を持ったエンジニアにあふれる「システムに凝る」会社として、世の人の手助けをしていきます。



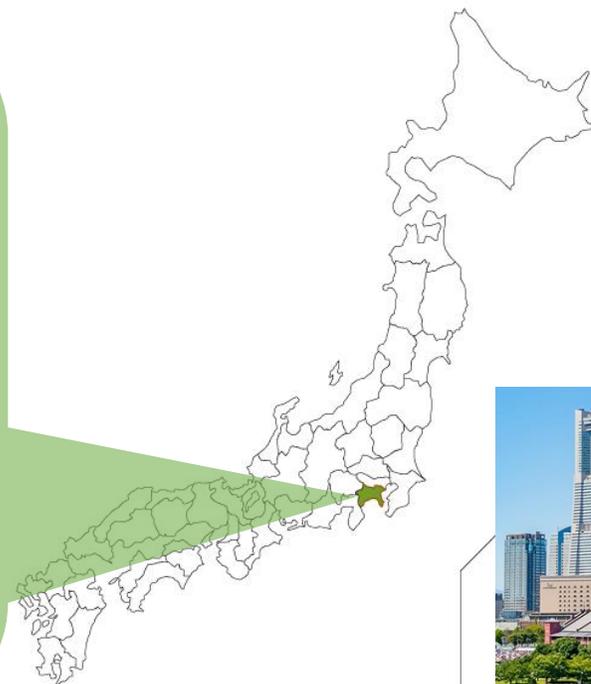
代表取締役社長 花園 泰

2. 会社概要

2-1. システムニコル株式会社 - 本社

| オフィス<人数> | 所在地 |
|-------------|---|
| 本社 <45名> | 〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石ヨコハマビル3F 最寄り駅:横浜駅東口より徒歩8分 |

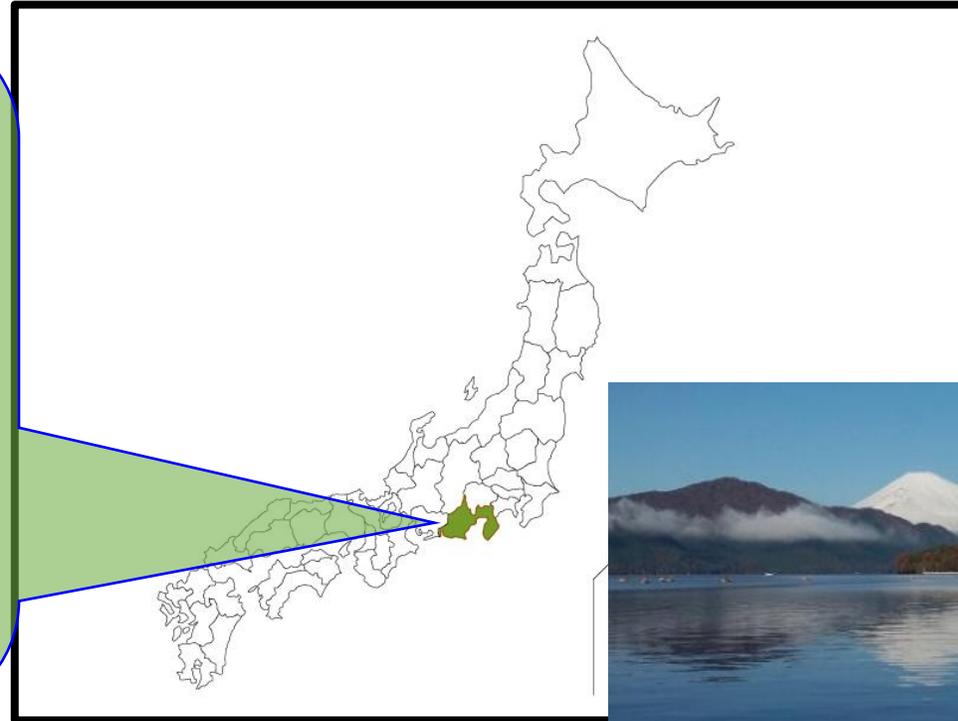
本社フロア床面積 :264.25㎡



2-2. システムニコル株式会社 - 沼津支所

| オフィス<人数> | 所在地 |
|--------------|--------------------------------------|
| 沼津支所 <7名> | 〒410-0396 静岡県沼津市宮本140 富士通沼津工場B棟5F |

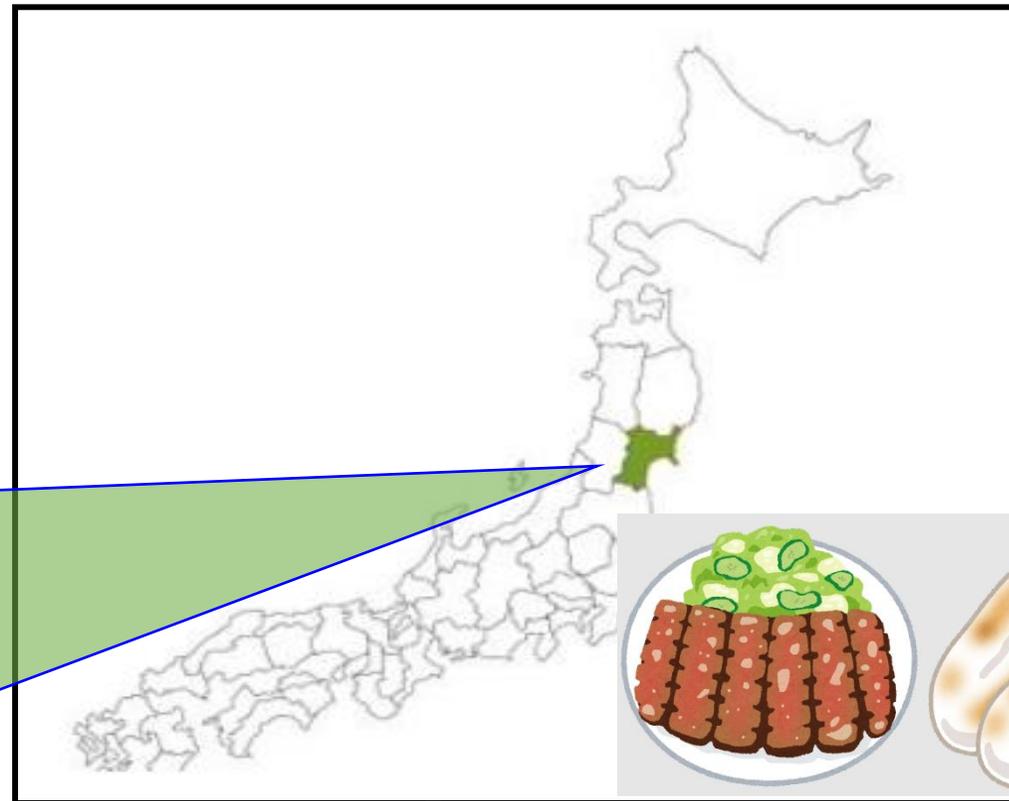
沼津支所フロア床面積 : 52.80㎡



2-3. システムニ科尔株式会社 - 仙台支所

| オフィス<人数> | 所在地 |
|---------------|--|
| 仙台支所 <19名> | 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-3-5 仙台青葉通ビル3F |

仙台支所フロア床面積 : 128.83㎡



会社概要

| | |
|-------|---|
| 創立 | 1973年5月 |
| 代表取締役 | 花園 泰 |
| 資本金 | 8,000万円 |
| 売上高 | 485百万円 |
| 従業員総数 | 71名(2024年4月現在) |
| 活動概要 | 以下のソフトウェア開発 ・通信系ソフト開発 ・組み込み系ソフト開発 ・Webアプリケーション開発 ・Windowsアプリケーション開発 |
| 設備概要 | パソコン, コピー機, Web会議システム ※社用車等の車両は保有しておりません |

- ◇ 対象範囲 全社(本社, 仙台支所, 沼津支所)
全活動(ソフトウェア開発)

◆組織沿革

1973年5月 川崎市に設立

1983年12月 沼津支所を開設

1987年7月 資本金6,400万円に増資

1991年10月 仙台支所を開設

1996年6月 本社を川崎市より横浜市へ移転

社名をシステム日本(株)よりシステムニコル(株)へ変更

2006年6月 エコアクション21認証取得

2007年1月 仙台支所を仙台青葉通ビルへ移転

2007年3月 沼津支所を富士通沼津工場内へ移転

2007年7月 資本金8,000万円に増資

2021年4月 業務拡張, コロナ感染防止対策により本社増床

2023年5月 創立50周年を迎える

3. 環境経営方針

◆基本理念

当社は「社会貢献」を企業理念に持つ企業として、環境関連法規、条例、地域の指導・指針を率先して守り、環境に配慮した事業活動を推進します。

また、人の集団であるIT企業として、社員一人ひとりの環境に対する意識向上を図り、労働環境に配慮し、健康経営を推進します。

キーワード:SDGsとプラス志向

◆基本方針

1. 3R:Reduce→Reuse→Recycleの順序で推進します。
2. SDGs:持続可能な環境活動を推進します。
3. 労働環境にも配慮し、健康経営を推進します。

上記の基本方針に基づき、以下の環境活動を推進します。

- (1) 事業活動によるCO2排出量, 廃棄物排出量, OA用紙使用量の削減に努めます。

※当社事業活動において、化学物質の取り扱いはありません。

- (2) SDGsの考え方を意識した環境教育を推進することにより、社員一人ひとりが持続可能な社会の創り手となることを目指します。
- (3) 業務効率化により、労働環境の改善および顧客満足度向上を目指します。
- (4) 各拠点における環境活動を通して、社会貢献活動を推進します。

本方針は社内および社外へ公表します。

制定日:2008年9月12日

改定日:2019年2月1日

システムニ科尔株式会社 代表取締役社長 花園 泰

4. ニコルの企業活動とSDGsの関わり

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  | <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>  | <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>  | <p><u>顧客からの信頼度の向上(品質向上, セキュリティの取り組み)</u> <u>DXへの布石となる新たな分野の開拓</u></p> |
|--|---|---|---|

品質管理室, CS推進室, ISMS推進室

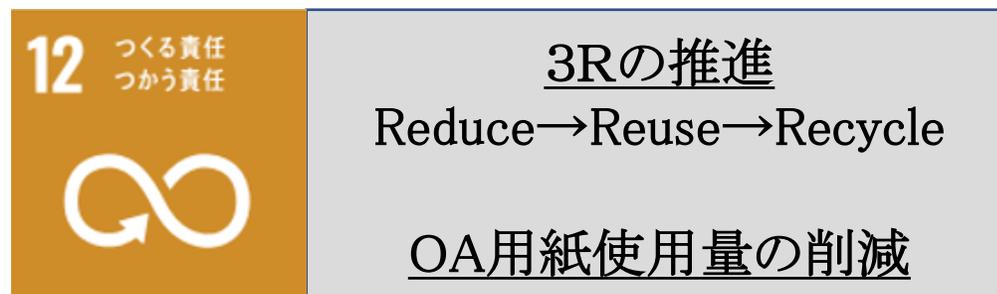
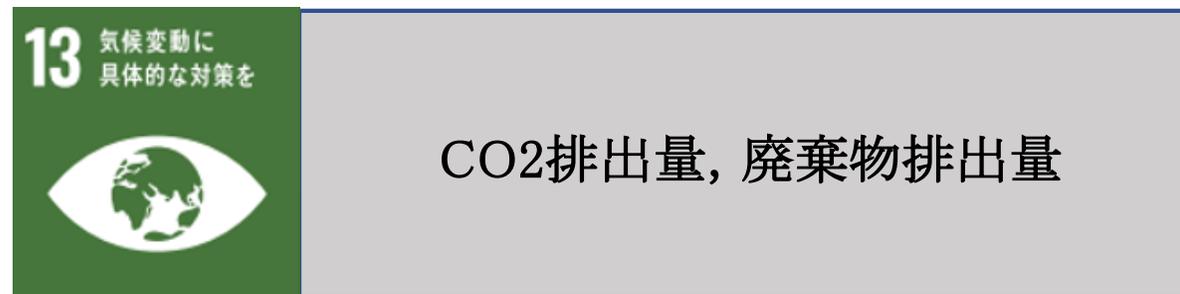
| | |
|--|---|
| <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  | <p><u>コア技術やDXの土台 となるスキルをもった 人材の育成</u></p> |
|--|---|

技術推進室

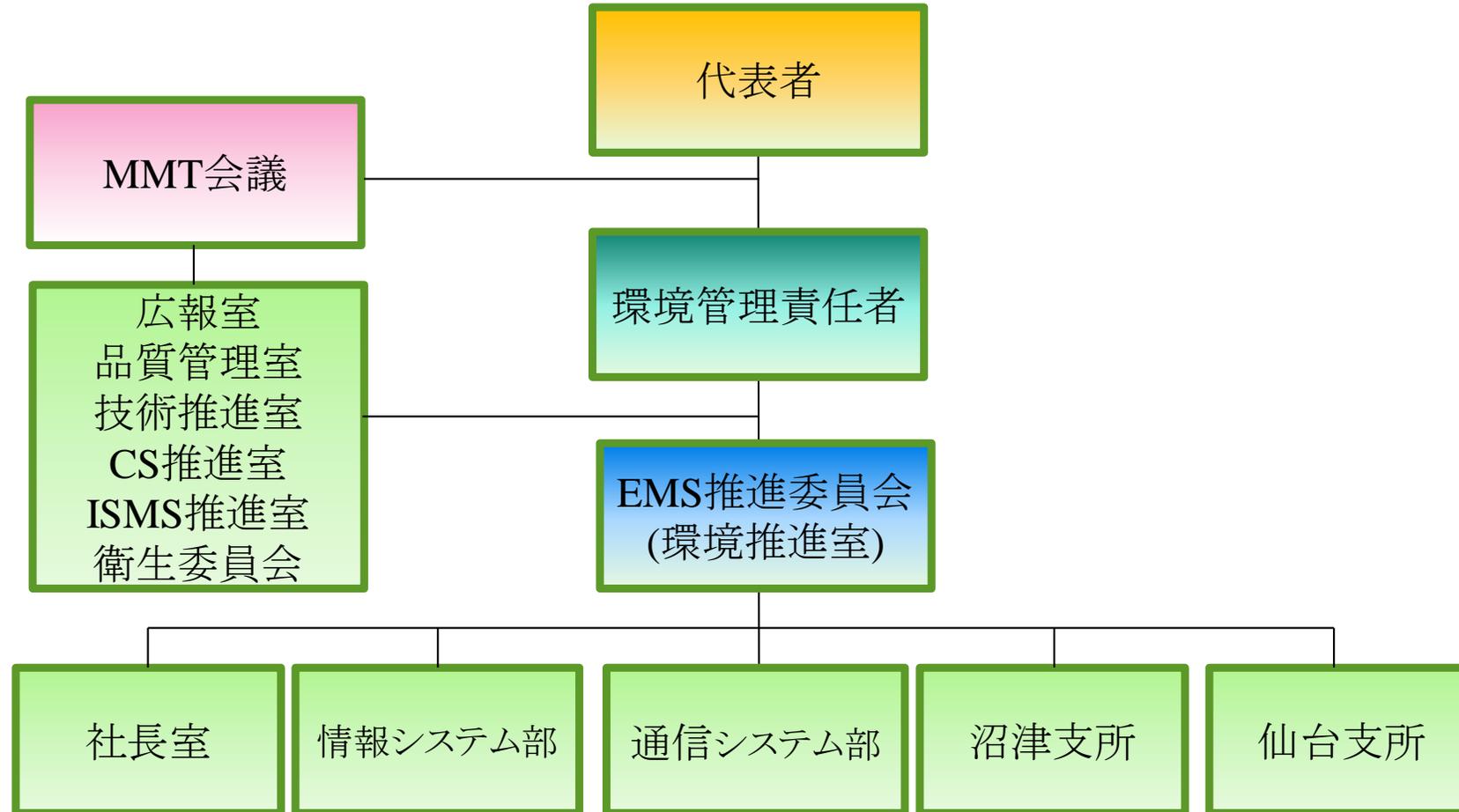
| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  | <p><u>働き方改革 多様な働き方の 追求</u></p> | <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  | <p><u>企業活動を通じ た地域社会への 貢献</u></p> |
|--|--|--|--|

衛生委員会, CS推進室

4-1. 環境経営方針とSDGsの関わり



5. 環境経営推進体制



環境経営推進体制

| | | |
|---------|-----------|-------|
| 代表者 | 代表取締役社長 | 花園 泰 |
| | 常務取締役 | 臼井 立美 |
| 環境管理責任者 | 環境推進室担当部長 | 田中 雅之 |



6. 環境経営目標と実績

表6-1: 中期目標と施策(環境負荷)

| 中期目標(2021年4月-2024年3月) | 環境施策 |
|--------------------------------|---|
| 電力使用量削減 2021年度実績値の維持および削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ,ウォームビズによる空調温度の適正管理 ・昼休み消灯,未使用機器電源OFF →異常値がないことを監視 |
| | コロナ感染防止対策を踏まえたテレワーク併用型の業務推進 |
| 紙使用量削減 2021年度実績値の維持および削減 | 電子媒体使用等によるペーパーレスの推進 →異常値がないことを監視 |
| 可燃ごみ排出量削減 2021年度実績値の維持および削減 | ゴミ分別化の徹底 →異常値がないことを監視 |

表6-2: 中期目標と施策(作業効率化/環境教育/啓発活動)

| 中期目標(2021年4月-2024年3月) | 環境施策 |
|-----------------------|--|
| 新しい生活様式での作業効率化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化提案件数の向上推進 →基準値(2021年度実績値)の維持向上を監視 ・労働環境改善活動 |
| SDGsを意識した環境教育の具体化 | 持続可能な教育方法の検討および運用 |
| 新しい生活様式を踏まえた啓発活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する外部セミナー参加 ・環境イベント参加 |

表6-3: 今期の評価-2023年度(環境負荷)

| 活動項目 | 年度目標 | 今期の状況 | 達成状況 |
|-----------------------|------------------------------------|-----------|------|
| 電力使用量削減 [kWh] | 2021年度実績値 の維持および削減 42,786.01 | 42,756.28 | ○ |
| CO2排出量 [kg-CO2] ※1 | 2021年度実績値 の維持および削減 19,063.68 | 19,034.66 | ○ |
| 紙使用量削減 [枚] | 2021年度実績値 の維持および削減 9,152 | 9,862 | × |
| 可燃ごみ排出量 削減 [kg] | 2021年度実績値 の維持および削減 126.1 | 144.8 | × |

※1 2020年度調整後排出
係数で算出
東京電力:0.443
東北電力:0.457

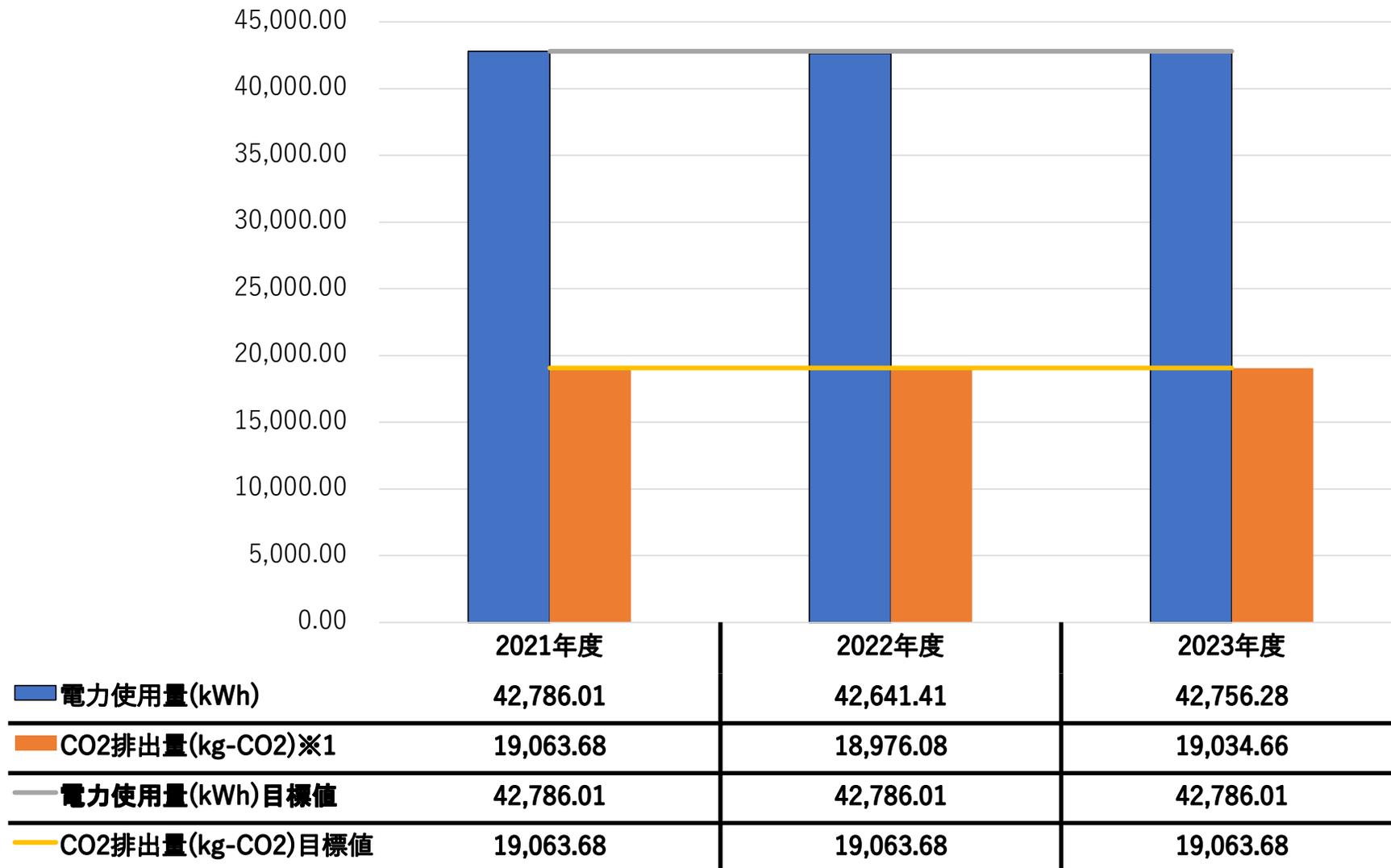
表6-4: 今期の評価-2023年度(作業効率化)

| 活動項目 | 年度目標 | 今期の状況 | 達成状況 |
|----------|---------------------------------------|--|------|
| 作業効率化の推進 | 業務効率化提案件数の向上推進 ⇒2021年度実績値(4件)の維持向上 | 12件 (開発サポートツール, 改善提案件数) | ○ |
| | 働き方改革を踏まえた業務効率化施策の検討 | CS推進室と連携して開発サポートツール以外の作業効率化施策の検討を実施した。 | ○ |

表6-5:今期の評価-2023年度(啓発活動/環境教育)

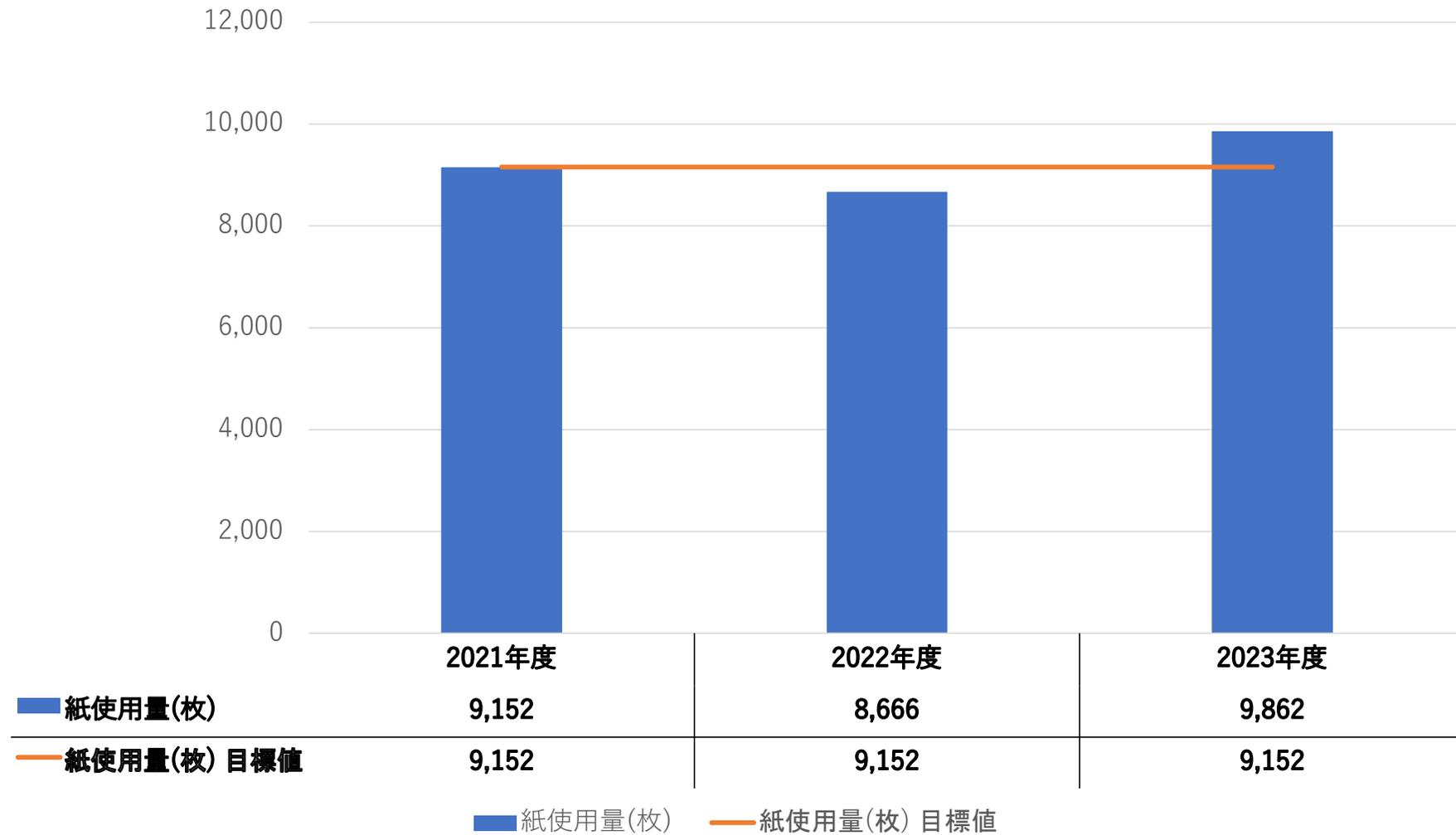
| 活動項目 | 年度目標 | 今期の状況 | 達成状況 |
|------------------|--|--|------|
| 啓発活動の推進 | 社内報, メール, 社内掲示板を通じた啓発活動の推進 | 社内報の環境関連トピックス, 社内掲示板による啓発活動を継続実施中。 | ○ |
| SDGsを踏まえた環境教育の推進 | 新人研修, 一般研修でのSDGs教育の体系化および外部研修を利用した環境教育の仕組み作り | 環境教育資料の見直し, 社内報, 社内掲示板を利用したSDGs教育の運用を継続中。 外部研修に参加し, 推進室メンバーで内容を共有できた。 | ○ |

7. 電力使用量の年度推移

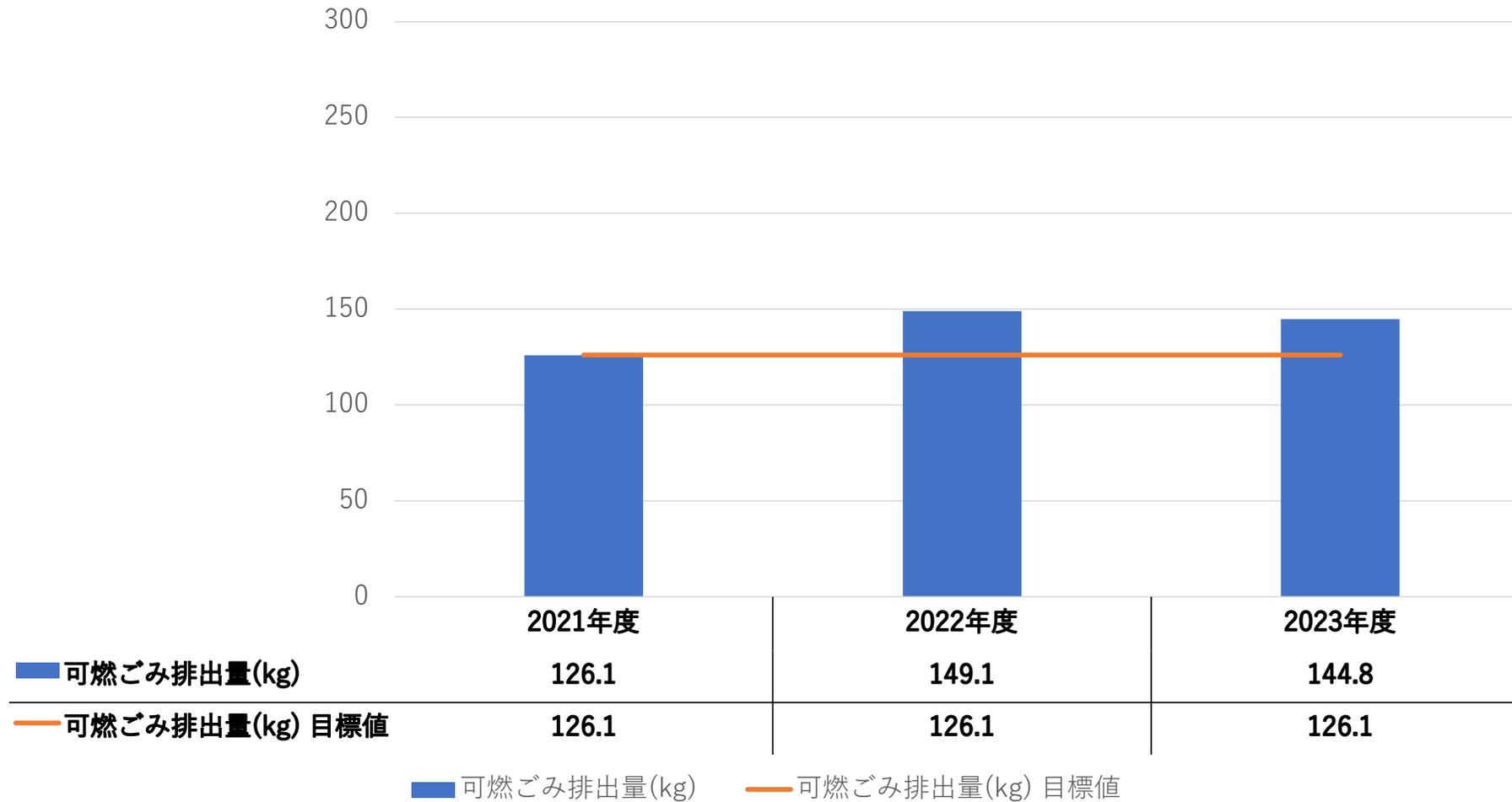


※1 2020年度調整後排出
係数で算出
東京電力:0.443
東北電力:0.457

8. 紙使用量の年度推移



9. 可燃ごみ排出量の年度推移



10. 環境負荷の考察

●電力使用量，CO2排出量

夏季の猛暑による変動要因の影響が懸念されたが、目標を達成できた。

●可燃ごみ排出量

本社の常駐者の増加および本社レイアウト変更による変動要因があり、目標を達成できなかった。

⇒変動要因分析を継続で実施していく。

●紙使用量

人材育成事業や本社レイアウト変更による変動要因があり、届出関係や講習資料印刷に伴う紙使用量の増加で目標を達成できなかった。

⇒変動要因分析を継続で実施していく。

●水道使用量

水道使用量については、入居ビル管理会社が全フロア一括で処理している為、フロア単位で数値を把握することはできない。したがって、水道使用量については節水への呼びかけを行っている。

11. 環境負荷測定法

ワットチェッカーによる
電力測定(沼津支所)



はかりによるゴミ計量
(全社)



12. 環境取組の評価

表12-1: 今期の評価および次年度の取組(環境負荷)

| 項目 | 評価 | 次年度の取組 |
|---------------------|--|----------------------------------|
| 電力使用量削減 CO2排出量削減 | 本社の常駐者増加やレイアウト変更による変動要因はあるが、一時的な負荷が増加する要因は把握できており、問題はない。今後も要因分析を継続で実施する。 | 2023年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していく。 |
| 紙使用量削減 | | 2023年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していく。 |
| 可燃ごみ排出量削減 | | 2023年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していく。 |

表12-2:今期の評価および次年度の取組(作業効率化/
労働環境改善/環境教育)

| 項目 | 評価 | 次年度の取組 |
|-----------------------|--|--|
| 業務効率化提案件数の向上推進 | テレワークへのシフトによる業務環境の変動を踏まえ、業務効率化提案件数の収集を実施した。 | 業務効率化のScopeを拡大し、ツール提案だけでなく、プロセス改善や社内業務の効率化も推進していく。 |
| 労働環境改善活動 | 衛生委員会による労働時間の管理、有給休暇取得の推進を継続で実施しており、問題はない。 | 各部門および衛生委員会による労働環境改善への取り組みを継続で実施していく。 |
| 持続可能な環境教育システムの構築および運用 | SDGsを踏まえた環境教育資料の見直し、社内掲示板の整備を継続で実施中。特に問題はない。 | SDGs関連の教育資料の整備、社内報、社内掲示板と並行し、外部研修を利用した教育を推進していく。 |

13. 環境関連法規

◆環境関連法規への違反, 訴訟の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は過去および現在において1件もない。また, 当社に対する関係機関及び近隣からの指摘・苦情もない。

※環境上の緊急事態に対する対応については,
自然災害, 火災のみ想定している。

表13-1:環境関連法規一覧(1)

| 関連法令・条例・規則・顧客 | 適用対象 |
|--|------|
| 循環型社会形成推進基本法 | 全社 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 全社 |
| 資源の有効な利用の促進に関する法律 (PCリサイクル法) | 全社 |
| 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) | 全社 |
| 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する 法律(小型家電リサイクル法) | 全社 |
| 労働安全衛生法 | 全社 |
| 横浜市廃棄物等の減量化, 資源化及び適正処理等 に関する条例 | 本社 |

表13-2:環境関連法規一覧(2)

| その他環境関連の要求事項 | 適用対象 |
|----------------------------------|------|
| 入居ビル管理, 富士通沼津工場の要求事項(ゴミ分別, 避難訓練) | 全社 |

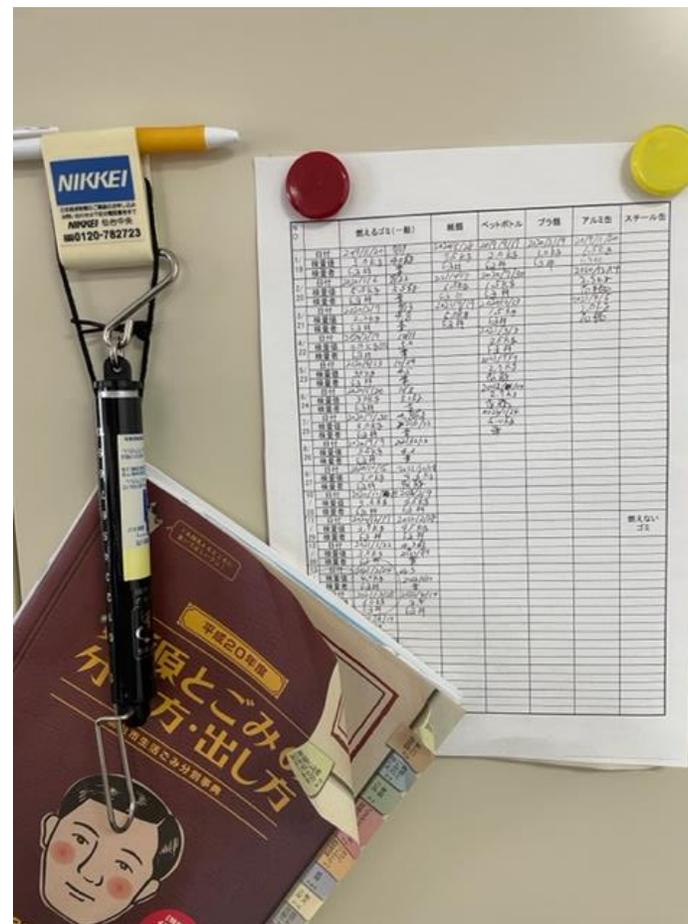
14. 環境活動紹介

14-1. 本社のゴミ分別収集

ゴミの分別はきっちりと！募金活動も実施中！



14-2. 仙台のゴミ分別収集および計測



14-3. 沼津の環境美化活動

2023年度は5月，8月，11月に実施しました。



14-4. 啓発活動

社内報，社内掲示板，エコカレンダー，エコバッグによる啓発を推進しています。



15. 事業活動における取組

15-1. 農業IoT

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



DXへの布石となる
新たな分野の開拓

15 陸の豊かさも守ろう



企業活動を通じた
社会への貢献

自社開発
プロジェクト推進

テクニカルショー
ヨコハマへの出展

農業IoT
推進

若手エンジニア育成

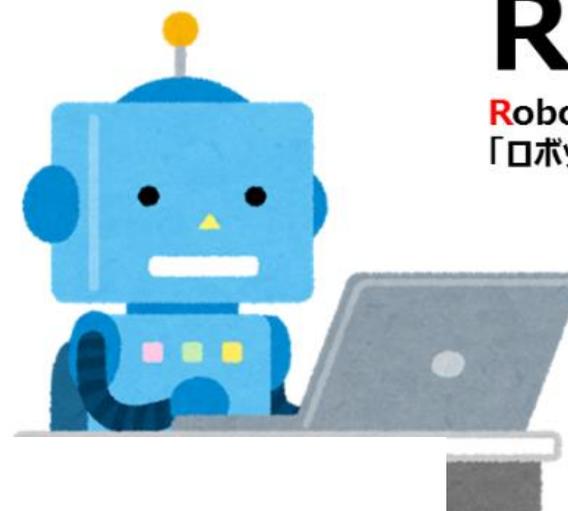


クラウドを利用した
IoT活用提案

15-2. 顧客への提案 (CS提案)



**IPMI導入提案により
サーバー稼働時間を
短縮(省電力化)**



RPA
Robotic Process Automation
「ロボットによる業務の自動化」

**RPA導入提案により
業務の自動化
(業務効率化)**

消費電力削減効果 ※下記は提案先企業の省電力効果試算

| | 現状 | 提案適用 | 効果 |
|---------|----------|----------|-------|
| 年間消費電力量 | 80,646kW | 57,804kW | 28%削減 |
| 金額 | 246万円 | 177万円 | 69万円 |

週末にサーバの電源をOFFし、週明けにサーバの電源をONした場合で試算
金額は1kWh辺り30.5円で計算

**提案先の会社の
省電力化に貢献！**

16. 代表者による評価と見直し

2021年度に収集した基礎数値を基に、今年度も環境負荷の評価を行った。

本社は昨年度に引き続き常駐者数が増加したが、環境負荷の増減要因を適切に把握しており、現段階での問題は無いと考える。

常駐者の増加に対しては、オフィス空間の利用効率を見直し、労働環境をさらに改善した。

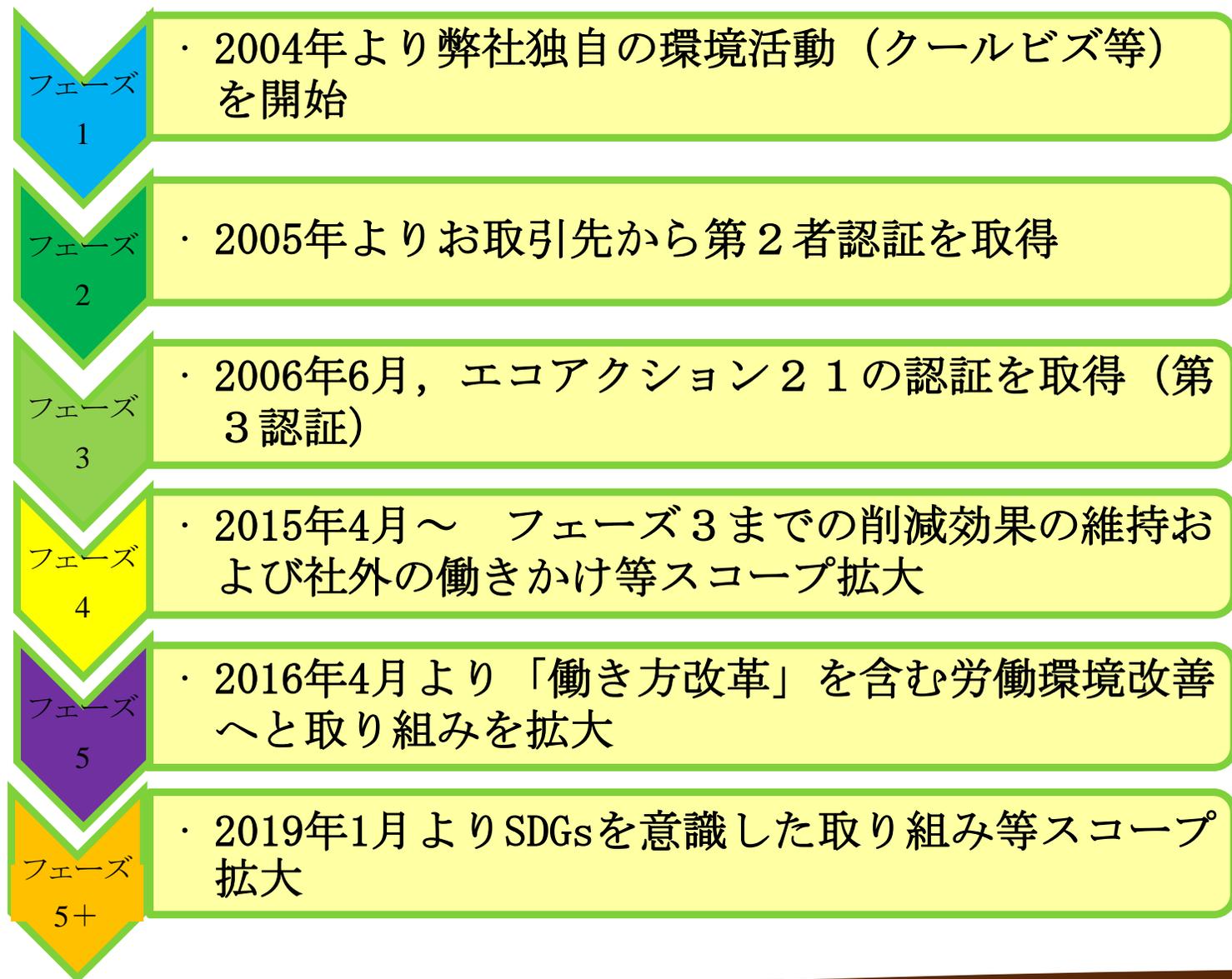
事業活動面では、受託や派遣中心の業務を継続する一方で、自社事業を通じた新分野への取り組みも進め、新規顧客との取引が始まるなど、具体的な成果が表れている。

また、若手エンジニアの育成に注力し続け、特に非理系の新卒向けに育成プログラムを充実させることができた。これらの取り組みは来年度も引き続き推進する。

さらに、沼津支所で再開した環境美化活動を全社的に展開し、社員の環境保全に対する意識を高めるとともに、地域社会への啓発活動にも繋げていきたいと考えている。

当社の50年以上にわたり築いてきた信用と信頼を大切にしながら、次の10年に向けて環境経営をさらに推進していきたい。

17. 環境活動の変遷



18. 中期目標(2024年度～2026年度)



| 通番 | 中期目標 |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 電力使用量・CO2排出量削減 2023年度実績値の維持および削減 |
| 2 | OA用紙使用量削減 2023年度実績値の維持および削減 |
| 3 | 可燃ごみ排出量削減 2023年度実績値の維持および削減 |
| 4 | 業務効率化推進のスコープ拡大 |
| 5 | 環境推進活動の見える化推進 |
| 6 | SDGsを踏まえた教育および啓発活動の推進 |

19. 年度目標(2024年度)

| 通番 | 中期目標 | 環境経営目標 |
|----|-------------------------------------|--|
| 1 | 電力使用量・CO2排出量削減 2023年度実績値の維持および削減 | ・2023年度実績値の維持および削減 |
| 2 | OA用紙使用量削減 2023年度実績値の維持および削減 | ・2023年度実績値の維持および削減 |
| 3 | 可燃ごみ排出量削減 2023年度実績値の維持および削減 | ・2023年度実績値の維持および削減 |
| 4 | 業務効率化推進の範囲拡大 | ・プロセス改善を含めた効率化提案件数の向上推進 ・社内業務効率化の推進 |
| 5 | 環境推進活動の見える化推進 | ・環境負荷データの見える化の推進 |
| 6 | SDGsを踏まえた教育および啓発活動の推進 | ・啓発ツールの見直しおよび追加施策の検討 |



We Produce
software.

システムニコル（株）
<https://www.nicol.co.jp>